

重点施策 4 教育環境条件の整備充実

【施策方針】

- 市内の学校施設の多くは築後30数年を経過し、雨漏り、施設の老朽化、内外装の損傷が著しく、早急な対応を迫られている。又、安心・安全な教育現場を確保するため、耐震指標IS値0.7未満の非木造の学校施設の耐震化を推進する。
- 科学的な知識、技能及び創意工夫の能力を養うため、理科教育備品の整備を図る。又、引続き、教材、管理備品、学校図書などの学習環境の整備を図るとともに、グラウンドの芝生化に取り組み、健康及び環境保全上の効果を増進する。
- 経済的な理由により就学が困難な児童生徒等を支援するため、就学援助事業及び育英事業の充実を図る。
- 本市の幼稚園及び小・中学校の適正規模等について今後の計画を定めるため、「八幡浜市学校再編整備検討委員会」の答申に基づき、市議会への報告、地域説明会を行い「八幡浜市学校再編整備実施計画」を策定する。

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

- ① 学校施設の整備充実 ② 教育機器の整備充実 ③ 施設の耐震化推進
- ④ 奨学事業の充実 ⑤ 八幡浜市学校再編整備実施計画の策定

(2) 施策・事業の実施状況

① 学校施設等の整備充実

ア グラウンドの芝生化事業

宮内小学校 3, 864千円 (スポーツ振興くじTOTO助成金)

保内幼稚園 635㎡の芝生化

② 教育機器等の整備充実

ア 理科教育備品の整備 (中学校) 3, 855千円 (1/2国庫補助)

イ 教材・管理備品・学校図書等の整備 21, 795千円 (前年度21, 051千円)
(幼稚園) 29千円 (小学校) 12, 648千円 (中学校) 9, 118千円

③ 施設の耐震化推進

④ 奨学事業の充実

ア 要保護・準要保護児童生徒に対し、学用品、修学旅行等の支給を行った。

イ 学資金貸与者42名、貸付額14, 048千円。返還者80名、返還額15, 866千円 (八幡浜市育英会奨学資金の状況)

⑤ 八幡浜市学校再編整備実施計画の策定

ア 全国的に少子化が進む中であって、八幡浜市も例外でなく園児、児童、生徒数の減少に伴い、学校の小規模化が進行しており、学級数の減少する学校や複式学級編成になる学校が増えている。また、校舎等の耐震化、施設設備の経年劣化問題などを抱えており、よりよい教育環境を整備・充実することは喫緊の課題となっている。

イ 平成24年3月、八幡浜市学校再編整備検討委員会からの「八幡浜市の学校規模及び配置等に関する基本的な考え方及び適正化のための具体的な方策について」の答申を受けて、教育委員会では「八幡浜市学校再編整備実施計画（案）」を策定した。9月定例市議会において学校再編整備実施計画（案）の説明を行うと共に、地域説明会やパブリックコメントの実施を行い、学校再編整備実施計画書を策定した。また、日土東小学校及び舌田小学校において閉校に向けた再編整備地域協議会を設置し、閉校の協議が整い統合合意書の調印を行った。

【学識経験者意見】

○ 学校は、勉強したり運動したり趣味の活動をしたりと、子どもたちが一日の大半を過ごす場である。その施設設備は長年、教職員・保護者そして児童生徒によって大事に維持管理されてきた。またその学校は、地域の人たちにとってもみんなが集う場所としての役割を果たしてきた。

現在その学び舎の多くが老朽化し、補修が必要な箇所も増えてきている。その改善要求に対して、全てではないがどうか予算をつけていただいております、ありがたい限りである。今後とも、予算確保と計画的な整備を図っていただきたい。

○ 学校再編については、全国的に少子化が進む中八幡浜市も例外ではなく、学校の小規模化が進行しており、再編（統廃合）は先送りできないものと考えます。地元への十分な説明の後、理解をいただいた上で、「八幡浜市学校再編整備実施計画」に沿ってそれを進めていただきたい。

【自己評価】

□ 学校施設については毎年度の学校視察にて修繕要望を集約し、訪問時に説明を受けた上で計画的に修繕を行っている。また、学校からの連絡により随時現場を確認する等の対応もしており、緊急のものはその都度対応しているが、財政状況の悪化により、全ての要望に足る十分な予算の確保が出来ない状況であり、担当課としても大変苦慮している。

□ グラウンド芝生化の効用については、昼休み等の休み時間に外で遊ぶ児童が増えたり、ケガが減少したり軽症化したりする変化が起きている。さらに砂塵が軽減されたり、鳥や虫が増えて自然が豊かになり精神的な落ち着きや癒しに繋がる等の報告があり、有益なものと考えます。なお、芝生化により灌水等による水道代の増加が今後の検討課題である。

□ 学校耐震化については、耐震指標 I S 値 0.3 未満の非木造建物は市内からなくなったが、引続き 0.3 以上の校舎等について耐震化を計画的に進めていくとともに、木造の学校施設についても耐震診断を実施し早期に耐震化を推進していく必要がある。

□ 平成24年度において、舌田小学校及び、日土東小学校の統合協議がまとまったが、今後、「八幡浜市学校再編整備実施計画」にあるように、小学校では複式学級のある学校、中学校では1クラスしかない学校の統合を目指し協議していく必要がある。また、園児数が減っており、保育棟が老朽化している松蔭幼稚園の閉園に向けた協議が必要である。